



## 2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東

コード番号 3541 U R L <https://www.nousouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 及川 智正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂本 大輔 T E L 03-6417-1047

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年8月期第1四半期の業績 (2025年9月1日～2025年11月30日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年8月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	2,271	16.8	9	△85.2	10	△85.1	4	△93.3
	1,944	16.4	66	94.1	68	96.7	70	142.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年8月期第1四半期	円 銭 0.22	円 銭 0.22
2025年8月期第1四半期	3.21	—

(注) 2025年8月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年8月期第1四半期	百万円 2,679	百万円 894	% 33.4
2025年8月期	2,557	889	34.8

(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期 894百万円 2025年8月期 889百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年8月期	—	—	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500 ～9,500	1.7 ～13.7	300 ～350	65.0 ～92.5	300 ～350	49.5 ～74.5	185 ～215	- ～-	8.46 ～9.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。2026年8月期の個別業績予想についてはレンジ形式により開示しております。詳細は添付資料（P. 3 「1. 経営成績等の概況

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年8月期 1Q	22,025,900株	2025年8月期	22,025,900株
2026年8月期 1Q	377,671株	2025年8月期	377,671株
2026年8月期 1Q	21,648,229株	2025年8月期 1Q	22,021,629株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料（P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

近年の全国農業総産出額は、米、野菜、肉用牛等における国内外の需要に応じた生産の進展等を背景に、9兆円前後で推移しております。2023年の農業総産出額は、米の需要が堅調に推移したことや野菜の生産量減少による価格上昇、鳥インフルエンザの影響により鶏卵価格が上昇したこと等から、前年に比べ4,968億円増加し、9兆4,952億円となりました。また、近年の生産農業所得は、全国農業総産出額の増減はあるものの、3兆円台で推移しております。2023年は、農産物の価格が上昇したこと等により、前年に比べ1,877億円増加し、3兆2,921億円となりました（出典：農林水産省「生産農業所得統計」）。他方で、2024年2月時点の農業経営体数88万3千経営体のうち、個人経営体は84万2千経営体で、前年に比べ5.2%減少した一方、団体経営体は4万1千経営体で0.7%増加し、団体経営体のうち、法人経営体は3万3千経営体で前年に比べ1.2%増加しております（出典：農林水産省「農業構造動態調査」）。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続しております。

当第1四半期累計期間における青果価格は、少雨等の天候不順の影響により、やや高めの水準で推移いたしました。一方、スーパーマーケットにおける青果物の販売動向は、前年同月比で上回っているものの、食品全体の販売動向に比べ低い水準で推移いたしました。

このような環境のもと、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、当社の主たる事業である農家の直売所事業及び成長事業である産直事業を推進いたしました。2025年4月には「中期経営計画2025-2027」の中で産直委託モデルの展開やAI需要予測システムの開発を推進することを発表いたしました。各種値上げ等のコスト増が見込まれる環境においても利益が確保できるよう、前事業年度に引き続き、生産者からいただく手数料等の見直しを行うとともに、将来の事業成長に向けた人材投資を行い、事業基盤の強化に努めました。

このような取組みの結果、流通総額は4,470,955千円（前年同四半期比6.6%増）、2025年11月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は2,309店舗（前事業年度末より63店舗増）、農産物の集荷拠点である集荷場は77拠点（前事業年度末より1拠点減）、登録生産者は10,544名（前事業年度末より125名増）となりました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は2,271,264千円（前年同四半期比16.8%増）、営業利益は9,849千円（前年同四半期比85.2%減）、経常利益は10,205千円（前年同四半期比85.1%減）、四半期純利益は4,716千円（前年同四半期比93.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりあります。

#### ①農家の直売所事業

農家の直売所事業では、当社及び業務委託先が運営する集荷場で登録いただいた生産者から農産物を出荷し、原則翌日にスーパー等の「産直コーナー」で販売する独自の流通プラットフォームを提供しております。

当第1四半期累計期間は、既存委託販売先との取引維持及び新規委託販売先での取引拡大に加え、登録生産者獲得のため、集荷場を拠点とした営業活動を行ってまいりました。和歌山・東海エリアにおける登録生産者からいただく出荷手数料の改定に加え、全国的なバーコードラベル代の見直し等の利益率向上施策に取り組み、事業基盤の強化に努めました。

これにより、流通総額は3,687,089千円（前年同四半期比2.8%増）、流通点数は16,733千点（前年同四半期比8.2%増）、売上高は1,501,821千円（前年同四半期比10.8%増）、セグメント利益は212,703千円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

#### ②産直事業

産直事業では、当社が生産者から直接農産物を買い取り、商品の「パッケージ」、売場の「POP」、生産者のおすすめ「レシピ」などで商品の附加価値を可視化（ブランディング卸）し、スーパー等の「青果売場」で販売しております。

当第1四半期累計期間は、ブランディング卸では既存取引先での主要品目を中心に取引量を拡大いたしました。新しい農産物流通の創造に向け、農家の直売所における委託販売システムとこれまでのブランディング卸を融合した「産直委託モデル」の拡大に注力いたしました。当社単独での「産直委託モデル」の拡大ではなく、2025年4月に「中期経営計画2025-2027」の中で公表いたしました、市場と協業した「産直委託モデル」のトライアルを推進いたしました。

これにより、流通総額は783,866千円（前年同四半期比29.1%増）、売上高は769,442千円（前年同四半期比30.7%増）、セグメント損失は4,965千円（前年同四半期は984千円のセグメント利益）となりました。

## （2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ121,887千円増加し、2,679,693千円となりました。

流动資産は、前事業年度末と比べ125,055千円増加し、2,229,383千円となりました。これは主に現金及び預金の増加129,952千円、売掛金の減少51,912千円、商品の増加46,160千円、その他流动資産の増加599千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ3,167千円減少し、450,309千円となりました。これは有形固定資産の減少1,558千円、無形固定資産の増加2,688千円、投資その他の資産の減少4,297千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ117,171千円増加し、1,785,192千円となりました。

流动負債は、前事業年度末と比べ121,626千円増加し、1,736,242千円となりました。これは主に買掛金の減少9,435千円、短期借入金の増加95,002千円、1年内返済予定の長期借入金の減少7,500千円、未払金の増加6,823千円、未払法人税等の減少4,505千円、賞与引当金の増加24,587千円、その他流动負債の増加16,655千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べ4,454千円減少し、48,950千円となりました。これは長期借入金の減少4,266千円等によるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ4,716千円増加し、894,500千円となりました。これは利益剰余金の増加4,716千円によるものであります。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年10月14日の「2025年8月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

当事業年度の青果価格は天候不順や猛暑による影響等で平年並みからわずかに高い水準で推移すると予想しております。

そのような外部環境の中、当社の主たる事業である農家の直売所事業では、前事業年度に開設した店舗が通年で寄与することに加え、集荷場や加工・物流センターの機能拡充により、供給力の強化を進めてまいります。産直事業では、産直委託モデルの拡大を目指し、既存取引先への営業活動を強化してまいります。加えて、「中期経営計画2025-2027」で公表いたしました人材やシステム投資を行い、AI需要予測システムの開発を推進してまいります。

以上により、2026年8月期の業績見通しにつきましては、流通総額18,000,000千円～20,000,000千円（前事業年度比4.4%～16.1%増）、売上高は8,500,000千円～9,500,000千円（前事業年度比1.7%～13.7%増）、営業利益及び経常利益は300,000千円～350,000千円（前事業年度比65.0%～92.5%増、同49.5%～74.5%増）、当期純利益185,000千円～215,000千円（前事業年度11,025千円）を見込んでおります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	777,589	907,542
売掛金	1,263,924	1,212,011
商品	45,128	91,288
その他	25,086	25,686
貸倒引当金	△7,400	△7,145
流動資産合計	2,104,328	2,229,383
固定資産		
有形固定資産	65,242	63,684
無形固定資産	61,026	63,714
投資その他の資産	327,208	322,910
固定資産合計	453,477	450,309
資産合計	2,557,805	2,679,693
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	999,042	989,607
短期借入金	10,036	105,038
1年内返済予定の長期借入金	244,564	237,064
未払金	219,756	226,579
未払法人税等	5,475	970
賞与引当金	51,689	76,276
その他	84,051	100,706
流動負債合計	1,614,615	1,736,242
固定負債		
長期借入金	36,671	32,405
その他	16,734	16,545
固定負債合計	53,405	48,950
負債合計	1,668,020	1,785,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	847,112	847,112
利益剰余金	144,650	149,366
自己株式	△152,138	△152,138
株主資本合計	889,624	894,340
新株予約権	160	160
純資産合計	889,784	894,500
負債純資産合計	2,557,805	2,679,693

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
売上高	1,944,364	2,271,264
売上原価	1,018,254	1,258,566
売上総利益	926,109	1,012,698
販売費及び一般管理費	859,498	1,002,848
営業利益	66,611	9,849
営業外収益		
有価証券利息	666	666
受取賃貸料	240	80
受取保険金	709	—
その他	749	305
営業外収益合計	2,365	1,051
営業外費用		
支払利息	655	696
営業外費用合計	655	696
経常利益	68,321	10,205
特別損失		
固定資産売却損	1,920	—
特別損失合計	1,920	—
税引前四半期純利益	66,400	10,205
法人税、住民税及び事業税	1,419	1,546
法人税等調整額	△5,753	3,943
法人税等合計	△4,333	5,489
四半期純利益	70,734	4,716

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	16,237千円	12,094千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2024年9月1日 至 2024年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	490,404	1,524	491,929	—	491,929
買取委託販売	801,903	9,613	811,517	—	811,517
卸販売	—	577,725	577,725	—	577,725
その他	63,193	—	63,193	—	63,193
顧客との契約から生じる収益	1,355,501	588,863	1,944,364	—	1,944,364
外部顧客への売上高	1,355,501	588,863	1,944,364	—	1,944,364
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	1,355,501	588,863	1,944,364	—	1,944,364
セグメント利益	223,330	984	224,315	△157,703	66,611

(注) 1. セグメント利益の調整額△157,703千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用157,703千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間（自 2025年9月1日 至 2025年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	521,340	6	521,346	—	521,346
買取委託販売	902,482	54,710	957,193	—	957,193
卸販売	—	714,725	714,725	—	714,725
その他	77,999	—	77,999	—	77,999
顧客との契約から生じる収益	1,501,821	769,442	2,271,264	—	2,271,264
外部顧客への売上高	1,501,821	769,442	2,271,264	—	2,271,264
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	1,501,821	769,442	2,271,264	—	2,271,264
セグメント利益又は損失 (△)	212,703	△4,965	207,737	△197,887	9,849

(注) 1. セグメント利益の調整額△197,887千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用197,887千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

当社は、2025年12月25日開催の取締役会において、SOMPO Light Vor tex株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）及び本新株予約権（下記「2. 本公開買付けの概要」の「（1）買付け等を行う株券等の種類」の「新株予約権」において定義します。以下同じです。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に賛同の意見を表明するとともに、当社株主の皆様及び本新株予約権の所有者の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て当社株式を非公開化することを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

1. 公開買付者の概要

（1）名 称	SOMPO Light Vor tex株式会社	
（2）所 在 地	東京都新宿区西新宿一丁目26番1号	
（3）代表者の役職・氏名	代表取締役社長CEO/CBDO 宮 淳	
（4）事 業 内 容	デジタル技術を活用した商品・サービスの企画、開発、販売	
（5）資 本 金	12,198百万円（2025年3月31日現在）	
（6）設 立 年 月 日	2021年7月	
（7）大株主及び持株比率	SOMPOホールディングス株式会社	100.0%
（8）当社と公開買付者の関係		
資 本 関 係	該当事項はありません。	
人 的 関 係	該当事項はありません。	
取 引 関 係	該当事項はありません。	
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。	

2. 本公開買付けの概要

（1）買付け等を行う株券等の種類

- ①普通株式
- ②2024年4月25日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第1回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）

（2）買付け等の期間

2025年12月26日から2026年2月16日まで（30営業日）

（3）買付け等の価格

- ①普通株式1株につき、767円
- ②本新株予約権（行使期間は 2024年5月10日から 2029年5月9日まで）1個につき、46,600円

（4）買付予定の株券等の数

株券等の種類	買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
普通株式	応募株券等の数の合計が 買付予定数の下限以上の 場合、応募株券等の全部	10,688,800（株）	-（株）

（5）公開買付開始公告日

2025年12月26日